

総合戦略の政策分野<若い世代の結婚、出産・子育ての希望をかなえる>

2015年⇒2060年	政策分野の方向性	講ずべき施策	現状の対応	今後講ずべき進め方(検討を重ねていく項目として)
<p>このままだと2060年には</p> <p>人口約6,900人減少 (約29%減) 年少人口約1,800人減少 (約54%減) 生産年齢約6,000人減少 (約41%減) 高齢者人口約1,000人増加 (約17%増)</p> <p>生産年齢1.24人で高齢者を支える社会</p> <p>社会保障費・税の負担増消費が増えない 経済循環が悪くなる 財政の硬直化を招く 公共施設・インフラの老朽化対応が進まない</p> <p>生活が苦しいと結婚に踏みきれない 生活が苦しいと子どもを産んで育てる余裕がない</p> <p>若者が給料の高い都会に移り住む</p> <p>一人暮らし高齢者が増える 高齢者世帯が増える 老老介護が増える 認知症高齢者の増加</p> <p>農林水産業の担い手不足 中心市街地の空洞化</p>	<p>若い世代の結婚を促進する</p>	<p>労働環境の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族にやさしい働き方支援事業 	<p>正社員での雇用促進を図ることで、安心して結婚できる環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正社員の割合が向上した企業に対し助成金を支給 ・家族にやさしい働き方支援事業(短時間勤務支援)の周知を図り、企業の積極的な活用を促進 ・情報化社会が進展してるためICT等の資格取得を支援 ・仕事と家庭の両立を図るため、まずは町がワークライフバランスを促進
		<p>出会いの場の提供</p>	<p>なし</p>	<p>オシャレでカッコイイ婚活プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「(仮称)おおがわら縁結びプロジェクト」を企画し、お見合い会員を募集 ・男子力アップスクール(草食男子の解消)&婚活イベント(みんなでイチゴ狩り等)を同時に開催し相乗効果を図る ・満開の桜の下で結婚式 or プロポーズ大作戦 ・成立したカップルに空き家を斡旋し、空き家対策と結びつける
		<p>結婚支援</p>	<p>なし</p>	<p>結婚するカップル、結婚した夫婦向けの支援策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに結婚した世帯や親元に戻ってくる世帯に対して家賃や新築代の助成 ・結婚に関するセミナーやカウンセリングを実施 ・婚姻届を出したカップルに対して、記念品をプレゼントする(役場で写真を撮って、それを額に入れて贈呈、OGAWARAロゴTシャツ) ・大河原町で結婚して、子育てするメリットをより明確に宣伝(SNS等の活用)
		<p>教育環境の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大河原町教育振興基本計画(志教育) ・みやぎの志教育プランによる小・中・高校の発達段階に応じた教育 	<p>若い世代に対して、「結婚の魅力」及び「じもとで暮らす魅力」を発信し、郷土愛を持ってもらう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10代半ば～20代半ばぐらいをターゲットとして、結婚の魅力と併せてじもとの魅力を発信 ・成人式を活用して事業を展開(郷土愛→地元での就職→地元での結婚→地元で妊娠・出産→定住の流れをつくる) ・高齢出産のデメリットの周知 ・学校において、結婚⇒妊娠⇒出産のイメージが持てるような体験の実施
<p>地域コミュニティの共助機能が低下</p>	<p>産み育てやすい環境を整備する</p>	<p>労働環境の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族にやさしい働き方支援事業 	<p>働きながら子育てをできる環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラチナくるみん認定制度(厚生労働省)に対する町の上乗せ補助や同様の認定制度の導入及び普及促進 ・子育て中の正社員の短時間勤務の促進(既存制度の周知及び活用の促進) ・出産後に離職させない仕組みづくり(出産後の継続就業支援、長期の子育て休暇の創設) ・長期間の育休の取得を促進 ・出産後も職場復帰しやすい職場環境の整備 ・出産により退職した女性の再就職支援(雇用した企業に助成を行う等)
		<p>妊産婦支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦健診 ・訪問指導 ・未熟児療養医療費給付 ・不妊治療の助成 	<p>安心して子どもを産める環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出産費用の実質ゼロ化 ・不妊治療の助成拡充、相談窓口の設置 ・妊産婦がふれあい情報交換できる場の創設、妊婦さんの相談体制の整備(インターネットでの交流サイトも良いが、保健師、栄養士に相談できる環境を整備) ・ファミリー・サポート(子育て援助活動支援)の創設、産後ヘルパー ・陣痛タクシーの導入 ・マタニティマークの普及、マタハラ防止

		保育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所の運営 ・ 児童クラブの運営 ・ 町内の幼稚園に対する補助 	民間活力の活用して、魅力的な保育環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 夜間保育所の開設 ・ 事業所内（職場内）保育所の促進 ・ 病児・病後児保育環境の整備 ・ 児童センター、児童館、放課後児童クラブの一体的な運営を促進 ・ NPO等の民間事業者に対しての児童クラブの運営委託
		子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども医療費の無料化（15歳まで） ・ 中学3年生インフルワクチン接種 ・ 子育て支援センターの運営 	子育てに対する多様な支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 多子世帯に対する補助金や減免 ・ 二世帯、三世帯の同居支援or近居支援、 ・ 世代交流いきいきプラザの土日開放による子育てイベントの実施 ・ 子育てサポート券（町内の店舗、飲食店の割引券等）の発行 ・ ベビー用品の3Rの推進 ・ 男性の育休取得の奨励 ・ 父子手帳の交付、お父さん教室の開催 ・ 子ども医療費無料化の所得制限の撤廃
		子育てに魅力的な環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都市公園、児童遊園の整備 	既存の施設（オーガ、プラザ）を活用し、子育て拠点施設を整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ オーガにママが交流できるオシャレなカフェの整備（育児不安を解消できる場所をつくる） ・ オーガもしくはプラザを中心した子育てのまちをつくる ・ プラザの土日開放 ・ 魅力的な公園整備 ・ 仙南夜間小児科急患センターの開設、産婦人科医の確保 ・ 大型ショッピングセンターや近所にスーパー、コンビニがある ・ きれいな（オシャレな）街並み、魅力的な公園、図書館（学習支援）の充実